

## 観光社会資本の事例

テーマ	歴史・文化・伝統を継承する城郭の復元	
【施設の状況写真】		
		
<p>(歴史的建造物の復元) これまでに菱櫓等の歴史的建造物の復元、石垣の修築、内堀の整備などを行い、往時の城郭の雰囲気再現した本物志向の整備を進めています。また、伝統的工法を基本とした復元は技術の継承にも役立っています。</p>	<p>(城郭の地割りを活かした都市公園) 都心部の貴重な緑を保全しながら、江戸後期の城郭の地割りを基に、県都のシンボルとなる公園整備を進めています。</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p>(学習の拠点) 復元建造物は、建物そのものが展示物で、内部の構造がわかる工夫やCG映像、各種の模型、発掘調査出土品、音声ガイドなどを備えており、歴史・文化の学習の場になっています。</p>	<p>(賑わいの拠点) 伝統的行事にまつわる催しなどが四季折々に開催され、賑わいの拠点となるとともに、伝統文化の継承の舞台にもなっています。</p>	
【観光資源としての利用状況】		
<p>金沢城は、本県の歴史・文化・伝統を継承する「象徴」であり、全国へ情報発信する「源」です。特別名勝「兼六園」と一体となり、県都金沢の緑豊かなシンボル空間として多くの皆様に親しまれています。</p>		
<p>平成13年秋の金沢城公園の開園以来、全国都市緑化フェア等の各種イベントの効果もあり、これまで550万人以上の方々が来園しています。</p>		
<p>また、金沢城と兼六園は、城とその外庭という歴史的背景があり、加賀百万石を代表する文化施設として、城と庭を舞台に「学習」「案内」「情報提供」「もてなし」を柱とする催しなどを開催し、来園者に好評を得ています。</p>		

テーマ	歴史・文化・伝統を継承する城郭の復元
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 金沢城公園</p> <p>所在地 石川県金沢市丸の内</p> <p>事業名 都市公園事業</p> <p>事業主体 石川県</p> <p>事業期間 平成8年～平成20年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>憩い、学習の場</p> <p>金沢城の有する歴史的文化遺産や自然環境を広く公開・活用し、多くの方々に金沢城の魅力を感じていただきながら、憩い、学習の場として利用されています。</p> <p>風格のある景観の形成</p> <p>本物志向の整備により、金沢城にふさわしい品位、風格のある景観を形成しています。</p> <p>まちの活性化、賑わいの創出</p> <p>兼六園と並ぶ本県を代表する観光資源として、国内外に魅力を発信し、都心の活性化や賑わいの創出に資する基盤施設となっています。</p> <p>技術の継承</p> <p>復元などの整備を通じて、伝統技術の継承や技術者の育成に寄与しています。</p>	
<p>【位置図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="145 1323 625 1809">  </div> <div data-bbox="636 1216 1401 1910">  </div> </div>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>石川県ホームページ <a href="http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/">http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/</a></p>	